

ディスプレイ憲章

ディスプレイは
主題を空間に演出する伝達技術である
われわれは
企業間の相互理解に立ち
業界全体の繁栄をはかると共に
創造に徹し
技術を磨き
ディスプレイを通じて
社会に貢献する

CONTENTS

ディスプレイの眼 百聞は一見にしかず	・ ・ 1
第 48 回通常総会	・ ・ 2
暑中お見舞い名刺広告	・ ・ 4
表紙デザイン大募集!	・ ・ 7
第 42 回東デ協親善 野球大会	・ ・ 8
next HERO わが社の新人紹介	・ ・ 10
Creators meeting 2011	・ ・ 12
平成 23 年度新入社員研修会	・ ・ 14
第 2 回懇話会「安全体感教育」	・ ・ 15

ディスプレイの眼

百聞は一見にしかず

先日休暇を取得し、タイ・バンコクに行ってきました。普段欧米派の私は滅多にアジアに行くことがなく、一昔前のアジアをそのままイメージしていましたが、実際はそのイメージを改めるに至りました。街の至る所にコンビニがあり、街中では皆スマートフォンを持ち歩き、駅や車内ではデジタルサイネージで延々と商品を宣伝しており、また駅やコンビニでは電子マネーが使えるなどなど、そこは日本と全く変わらない日常が広がっていたのです。

ここ数年の新興国の台頭、その中でもタイの成長率は上位であることは、普段新聞等を通じて言われていることですが、やはり実際に現地に赴き、改めてその成長を体感することが出来ました。

新興国経済を取り込むべく、タイには製造業はもちろん、流通業も既に多数進出しており、街の至る所にて日本でおなじみの飲食チェーンやGMSが営業していました。また日系企業に限らず、各国企業もタイに進出しています。

こうした企業が現地で成功すべく、どうコミュニケーション業が支援していくかを考えるうえで、やはり二次情報だけでなく、実際に体感することの大切さを再認識した滞在となりました。